企業・団体名（　　株式会社エラン　　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・「エラングループコンプライアンス・マニュアル」を定め、国籍、人種、信条、性別、門地などを理由とした差別の禁止を明示 ・内部通報窓口（ホットライン）の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・「就業規則」にて、各種ハラスメントを禁止する旨を明示 ・適宜 管理者向けの会議にて啓もう活動を行っている ・全拠点の各執務室にハラスメント防止ポスターを掲示 ・内部通報窓口（ホットライン）の設置					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・勤怠システムにて個人別で就業時間の管理監督を行い、月内の残業時間が増加傾向にある場合はその本人と管理者へアラート通知を実施 ・経営会議にて業務時間を超過している従業員について、役員に情報共有と再認識を促し対応を求めている ・社内に「エラン輝きプロジェクト」を組成し、抜本的な働き方改革を進めている								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・「エラングループコンプライアンス・マニュアル」を定め、国籍、人種、信条、性別、門地などを理由とした差別の禁止を明示				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・定期的に安全運転講習（全従業員向け、拠点管理者向け、新入社員向け）を実施し、交通事故の抑制に努めている ・月次で交通事故件数と発生要因の振り返りを実施 ・病院／介護施設へ当社サービスに用いる物品を納品する際、人との衝突や荷崩れが生じないよう留意のうえ作業を行っている			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・全従業員に対し、毎年ストレスチェック（労働安全衛生法に基づく）を実施 ・「メンター制度」を定め、特にメンタルヘルスのケアが必要な新入社員に対してフォローアップ体制を整備 ・常勤者が50人を超える拠点について、産業医面談の機会提供			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・フレックスタイム制度やビジネスカジュアル等を導入し、従業員のライフスタイルに合わせた「働きやすい」会社づくりに努めている ・社内の独自制度として「ライフサポート短時間勤務制度」を制定し、育児と仕事が両立できる環境構築を図っている ・社内ポータルサイトにて、主要役職者によるブログ発信を通じて、育児休暇取得を推奨する旨のメッセージ発信を実施 ・えるぼし／くるみん取得済					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・年次、階層別に研修機会を提供している（新入社員研修、半年研修、二年目研修、三年目研修、管理者研修等） ・毎年、異動希望の自己申告や中長期的なキャリアビジョン等を自発的に自身のキャリアデザインを考える機会提供を行っている ・社員の公的資格等の取得を奨励し、資格取得奨励一時金を支給している				4	5.5			8	9									
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・「人事関連規定」を定め、従業員の勤務成績を公正に評価する旨を明示。また、雇用形態、就労形態が影響を及ぼさない範囲と考えるエリア手当や通勤手当等については支給を行うなど、適宜 労働環境の整備を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】健康経営優良法人認定制度である「ホワイト500」の認定を目指し、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいく			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物は行政が定める方針に則り、適正に分別したうえで廃棄を行っている。また、社内ゴミステーションを有する拠点では、各廃棄物の捨て方や回収日、置き場を明記したマニュアルを掲示し、行政が指定する回収業者に適切に引き渡せるよう環境整備を図っている											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・各拠点におけるガソリンと軽油、電気使用量を把握している ・温室効果ガスについて、スコープ1、およびスコープ3の一部を把握 ・【予定】2023年度はスコープ1,2,3全体の把握予定							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・【予定】社用車のハイブリット／EV化の推進							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・事務用品を選定／購入の際、原則 グリーン購入を推奨し環境負荷の低減に努めている ・【予定】当社事業に用いる日用品について、脱プラ製品に切り替える			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・事務用品を選定／購入の際、原則 グリーン購入を推奨し環境負荷の低減に努めている ・主要取引先となるリネン工場において、医療関連サービスマーク（マル適マーク）認定企業から優先的に採用を行っている。洗濯排水を浄化し放流／再利用を行うことで、生物多様性や生態系に影響を及ぼす環境保全に努めている						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・グリーン購入のガイドライン策定 ・【予定】社内業務のペーパーレス化 ・【予定】サービスの申込書～入金確認までの紙利用をデジタル化												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・家庭用洗濯機とリネン工場（主要取引先）における水資源使用量を把握、コーポレートサイトに掲示している。また、当社サービスを普及／拡大させることで、水資源の節約に資するよう努めている						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・主要取引先となるリネン工場によって、ISO14001の認証を取得しており、当社事業の運営においても環境負荷低減に努めている			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・コーポレートサイトにて、主要事業の普及による電力と水の削減効果を明示 ・定期的に「統合報告書(ELAN REPORT)」を作成／開示												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・主要取引先となるリネン工場において、洗濯排水を浄化し再利用を行ったり、また洗濯工程で必要となるエネルギーの使用効率向上を図っている							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】当社事業に用いる日用品について、脱プラ製品に切り替える												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・「就業規則」や「エラングループコンプライアンス・マニュアル」を定め、汚職や贈収賄等の禁止を明示している ・コンプライアンスに関する情報や身近な事例を月2回発信し、コンプライアンスの理解／浸透を図っている																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・「就業規則」にて、自由な競争原理に基づき、関係法令をを遵守した公正な取引を行う旨を明示している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・「エラングループコンプライアンス・マニュアル」を定め、知的財産権の保護と尊重について明示している ・他社の権利を侵害しないよう、適宜 特許調査を実施 ・当社が開発した商品／サービスについて、意匠／商標登録を出願し、知的財産の保護に努めている								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「情報セキュリティ対策基準」や「エラングループコンプライアンス・マニュアル」等を定め、個人情報の保護と取り扱いについて明示している。また、コーポレートサイトに「プライバシーポリシー」を掲出し、当社の個人情報保護方針を開示している ・肖像権をはじめとし、従業員の権利保護に努めている。また、それらの利用にあたっては「個人情報取扱い同意書」にて適宜 従業員の同意を得ている ・Pマーク(JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム)を取得済																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社事業において、紛争鉱物の取り扱いはございません。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・新規の取引先と取引を行う際、事前に反社チェックを実施している。また、お互いに事業パートナーとしてあり続けるためにコンプライアンスの遵守等に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・適宜 在庫確認や実地棚卸を行うことで、在庫滞留による商品の劣化や不良在庫が配付されないよう努めている ・配送時におけるモノの取り扱いや作業時の注意事項をまとめた「配送業務マニュアル」を策定。配送委託業者へも周知し、未然に作業時の事故等のリスク抑制を図っている ・院内リネン類について、医療関連サービスマーク(マル適マーク)の認定を受けている企業をはじめ、各企業では医療用リネンの洗濯基準(80℃で10分以上)を満たす工業洗濯が行うことで、安心安全な院内環境の維持に寄与している			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・サービス導入にあたっては、当社営業、施設職員、仕入先業者の三者が綿密に連携を取ったうえで仕組みを検討している。また、運用開始後においても適宜アフターフォローを行い、継続的にサービスの向上に努めている ・顧客からの問い合わせ窓口を設け、疑問解決やクレーム対応等が行える体制を構築している。また、顧客からのご意見を分析することで、さらなるサービス向上に寄与している									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・CSセットの普及を通じて、節電／節水を推進(※家庭での個別洗濯比)						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・経営理念である「私たちはお客様に満足していただける最高の商品とサービスを追求し、情熱を持った行動を通じて心豊かな生活環境の実現に貢献します。」の実現に向け、入退院を契機とする困りごとを解決できるサービスの開発・展開に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・世代、性別、地域を問わず必要とされるサービスを展開、現在は47都道府県にサービス展開を行っている				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・国立成育医療研究センターの医療型短期入所施設「もみじの家」に対し、一般財団法人重い病気を持つ子どもと家族を支える財団（キッズファム財団）を通して、タオルレンタルの無償提供によるサポートを行っている ・例年 事業パートナーである病院において、地域住民との交流を深める病院祭を行っている。当社も志を同じく参画し、病院と地域住民の関係構築に寄与している（※現在はコロナの影響で中止）				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地元を代表するプロサッカークラブ「松本山雅FC」へ協賛を行い、松本市民との交流機会の創出や地域活性に努めている								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・毎朝朝礼にて唱和 ・当社の価値基準を言語化したクレドブックを策定 ・社内ポータルサイトにて、主要役職者によるブログ発信を通じ、随時 社内浸透を図っている ・【予定】日々の業務に体系的に落とし込めるよう、人事評価制度と連動させる								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・入社時にコンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンスに関する情報や身近な事例を月2回発信し、コンプライアンスの理解／浸透を図っている ・重要書類についてはリーガルチェックを実施しており、法令遵守が問題となる事項については、社内稟議上、コンプライアンス担当部署の承認を必要とする仕組みとしている																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・定期的に担当部署が「ELAN REPORT（統合報告書」にて、当社の取り組み状況を取りまとめている。また、外部発信も行っている																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・お客様（CSセット利用者）とそのご家族、医療機関・介護施設、株主・投資家、ビジネスパートナー（仕入れ先等）、従業員・その家族をステークホルダーと捉え、適宜対話を行うことで影響を把握し、適切に対応している。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・「グループ内部通報規定」や「危機管理規定」等を定め、従業員の監視体制の整備や経営危機に直面した際の対応について明示している。また、コーポレートサイトに「リスクマネジメント・コンプライアンス」を掲出し、当社における基本的な考え方を開示している ・必要に応じて、経営会議及び取締役会への報告を含めた適切な対応を図っている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・当社のパートナーである病院／介護施設は公共性が高く、当社事業におけるCSR経営の重要性を認識している。また、地震や台風等の災害時には救援物資の提供やボランティア等で支援活動を実施している ・「統合報告書（ELAN REPORT）」を発行し、取組状況を開示している																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・BCPを策定、定期的に見直しを図っている。また、緊急時の対応（避難経路や緊急連絡先）について、執務室に常時掲示を行うことで日頃から意識浸透に努めている ・適宜 内部監査にて評価を行っている									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・最高経営責任者（CEO）、最高執行責任者（COO）をはじめとする主要役職者は、指名・報酬委員会で定めた選任基準に基づき提案された候補者の中から、取締役会で決定している								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）